

傘寿のチエロ優しく

演奏会に臨んだ平井さん一家。左から指揮を務めた秀明さん、丈一朗さん、ピアノ伴奏した元喜さん

カザルスの高弟 平井丈一朗さん

東京

世界で活躍するチェロ奏者、平井丈一朗さんは傘寿（八十歳）を迎えた八月二十日、東京・上野の東京文化会館で記念演奏会を開いた。広野町ゆかりの童謡「とんぼのめがね」などで知られる作曲家平井康三郎さんの長男で、チェロの世界的巨匠パブロ・カザルスの高弟。深い精神性を感じさせる円熟の音色を響かせた。音楽一家の家族らの共演が花を添えた。丈一朗さんは「芸術家に年齢はない。終わりなき芸術の道を日々感動をもって探求したい」と新たな意欲を燃やす。

丈一朗さんは、一九三七年（昭和十二年）、東京に生まれた。国内外の数々のコンクールで入賞を重ね、一九五七年（昭和三十二年）から五八年間、プエルトリコでカザルスに師事して研さんを積んだ。後継者と認められ、世界各地で音楽活動を展開している。

記念演奏会はビバルディの「エロソナタ第二番」へ長

80歳の平井丈一朗さん

深く優しい音色を奏でる

作曲した「祝典序曲」と「『ローレライ』による幻想曲」を披露した。丈一朗

さんと、長男の平井秀明さん（四七）が指揮する「平井丈一朗・ユビリーオーケストラ」と、次男でロンドン

トの平井元喜さん（四四）が共

演した。

丈一朗さんは世界中の人々に語り掛けるよう深く

想曲

想